12月 新着本の紹介



青字は児童書

書　　名	著 者 名	内　　容
Mr．ブルー　すみれの園の紳士と淑女	有川 ひろ	宝塚を愛してやまない人々が集う美容機器メーカー【ヴィオレッタ】。 年齢も性別も異なる紳士と淑女が、同僚として、友人として、時には恋人として支え合いながら人生を選び取る。舞台の幕が降りるたび、心に拍手が響き渡る、愛おしさにあふれた物語。
ポラリス通信	村山 早紀	閉店した街の本屋さん「ポラリス」が、シェア型書店として復活。 旅人を導く北極星のごとく、静かに明かりを灯す「ポラリス」に、傷を抱えて生きる人々が集う。 本と本棚を通じた会話が、あなたの心を優しく包み、傷を癒してくれる。
神話	知念　実希人	神とは何か？　人とは何か？ 脳障害から奇跡的に生還した青年。その知性は人知を超え、やがて神として君臨する。AI、宗教、戦争、核の脅威。世界を巻き込んだ、神と人間の宿命を描き切る！
老後破産の女王	中村 うさぎ	我が世の春を謳歌した「浪費の女王」。しかし、病に倒れて仕事は激減、気がつけば65歳にして貯金ゼロ・年金ゼロの危機に直面！　シルバー就活、親身な知人の入れ知恵、最後のよすが・認知症の実父など、「それ大丈夫？」という捨て身の手段と人脈で破産人生脱出を企む！
えにし　〈絆〉時代小説傑作選	西條 奈加，澤田 瞳子，他	江戸の町はご縁でつながっているーー 友達、夫婦、同僚など、さまざまな形の絆を描いた時代小説アンソロジー。
フロムヴィレッジ	誉田哲也	都内で発生した轢死事件。被害男性が香川県在住であることから、警視庁捜査一課殺人班十一係主任・姫川玲子は四国へ飛ぶことに。被害者は神社を営む旧家・十河家の縁戚者であり、玲子は二つの家系に横たわる世代を超えた暗い因縁を掴む。魚住久江巡査部長らが捜査を続ける東京では、被害者が生前、遺伝子検査機関と連絡を取っていたことが判明しーー
ブラックキャット	松嶋智左	群馬県警本部捜査一課白澤蕗の前に、数年ぶりに現れた兄・然。小狡くて卑しい然とは縁を切っていたが、２００万円を用立ててくれと泣きつかれる。然にとある負い目がある蕗は、追い詰められて証拠品保管庫から現金を盗み出す。元検事の小曾根に金を借り保管庫に戻すが、今度は小曾根から強請られる。借用書を取り返そうと小曾根宅へ侵入した蕗が、そこ目を疑う光景があった
おせち	内田有美, 満留邦子, 他	おせち料理を美しい絵でひとつひとつ紹介しながら、そこに込められた願いをリズミカルなことばで伝える絵本です。一の重、二の重、三の重と料理を詰める順番もわかります。今はおせち料理もバラエティーに富んでいますが、改めて日本の伝統食・おせちの良さを味わえる一冊だと思います。

出版社HPより

【お知らせ】月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。
■NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイド」
■「ESSE」

